

進路だより★るもい

令和4年度9月第5号 北海道教育庁留萌教育局 キャリアコンサルティングスーパーバイザー(進路相談員) 齋藤 利佳

▶▶面接練習をもう一度見直してみよう!▶▶

8月号で、面接の基本的な情報をお伝えしましたが、9月に入り本番も近いため、今一度、気を付けていただきたいポイントをお伝えします。

1 質問に答えるときは、「結論が先、理由や説明は後」で、的確に話す

質問に答えるときは、面接官に対してわかりやすく話すことが大切です。結論が先、理由や説明は後に話すことを心がけましょう。

面接官
「好きな教科は何ですか？」



受験者
「はい。好きな教科は〇〇です。理由は、…だからです。」

2 話の語尾に注意する

質問に答えるとき、「…です。」「…しました。」等の言葉で締めますが、語尾をしっかりと発音することで、話の終了が面接官に伝わり、次の質問にスムーズに進むことができます。

→マスクを付けているため、声が聞き取りづらい場合があります。口を大きく開けて、はっきりと話すようにしましょう。



3 回答は1分～1分30秒に収める

面接における標準的な回答時間は1分～1分30秒と言われており、質問された内容に対して的確にわかりやすく答えることが大切です。しかし、質問によっては、3分以内にまとめて答えてください等の指示があるかもしれません。ですから、質問内容によって臨機応変に答えることも必要です。

1分～1分30秒というのは目安ですが、時間に拘りすぎて、話さなければならないことを無理に省いたり、反対にだらだらと長く話しすぎないように注意しましょう。

4 入退室は何回も練習する

入退室は、考えなくても自然と身体が動くように、身体に覚え込ませるように何回も練習しましょう。

5 スマホなどで自分の練習風景を撮影する

自分の姿を撮影することで、挨拶のしかたや姿勢などを確認することができます。本番前に撮影して確認してみましょう。

6 敬語がうまく使えないという方へ

まず、「です」「ます」等の丁寧語を使ってみましょう。丁寧に表現することで、面接官に対して敬意を表すことができます。